

空気より軽い12A、13Aガス用

MC315SCT_(05)_COSMOS

■家庭用
住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器

型式名 **MC-315S**

■取扱説明書

- 住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器をお取り付けいただきありがとうございます。
- この取扱説明書は住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器の取扱方法を説明します。
- お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容をご理解した上で取り扱ってください。
- 取扱説明書および保証書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしてください。
- 本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、お買い求めの販売店または、最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 本警報器は、火災による煙を感知して警報を発するものです。火災の発生を未然に防止する装置ではなく、また、火災による損害を防止することを保障するものではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれやCOによる損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれやCOなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本警報器は火災による煙を感知して、警報を発するものです。換気扇等により煙が吸引され、煙感知部に煙が到達しない場合は、火災警報機能が動きません。
- 本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガス検知部にガスやCOが到達しない場合は、ガス警報機能やCO警報機能が動きません。

■警報器の機能について

■ガス警報機能・CO警報機能
警報器周囲のガスやCOが規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。

【お断わり】

- ガス検知部にガスやCOが到達しないときは、警報機能が動きません。
- ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。ガスもれやCO発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取付場所近くでのガスもれやCO発生には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスやCOには警報を発ししないことがあります。

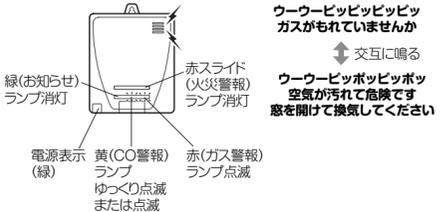
■火災警報機能
火災などにより、警報器周囲の煙が規定濃度以上になると、それを感知して警報を発します。

【お断わり】

- 換気扇などにより煙が吸引され、煙感知部の煙が規定濃度以上にならないときは、警報機能が動きません。
- 火災の発生を未然に防止する装置ではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 警報器を取り付けていない部屋は、火災の監視ができません。

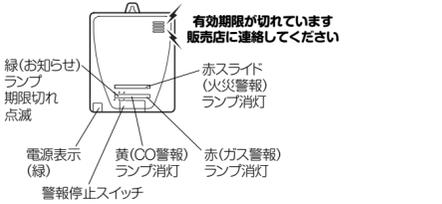
■ガスのもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは

警報器周囲のガスとCOが規定濃度以上になると作動します。



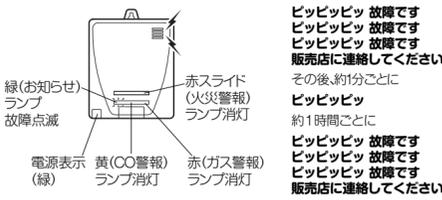
■有効期限が過ぎたときは

有効期限が過ぎると緑(お知らせ)ランプが期限切れ点滅します。また、警報停止スイッチを押すと「有効期限が切れています 販売店に連絡してください」となり、約36時間の停止中に警報停止スイッチを押すと、故障の音声が発しますが、約36時間の一時停止の状態はリセットされません。



■故障しているときは

故障が発生すると、「ビッピッピ 故障です ビッピッピ 故障です ビッピッピ 故障です 販売店に連絡してください」が1回鳴り、緑(お知らせ)ランプが故障点滅します。その後「ビッピッピ」と約1分ごとに繰り返し鳴り、約1時間ごとに「ビッピッピ 故障です ビッピッピ 故障です ビッピッピ 故障です 販売店に連絡してください」が鳴ります。それ以降も同じ警報を繰り返します。



安全上のご注意

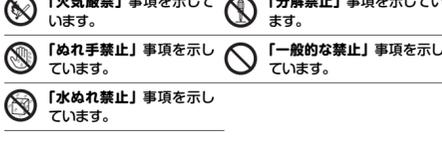
ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

△危険 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。

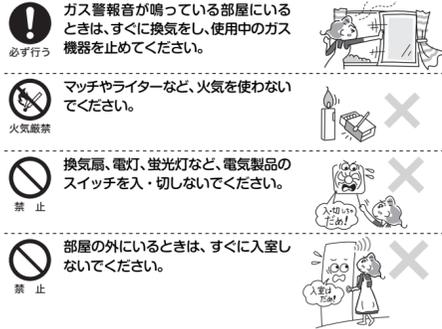
△警告 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

△注意 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。



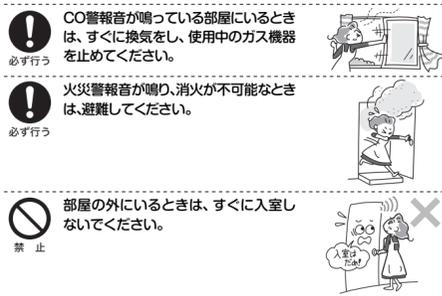
△危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。爆発の恐れがあります。

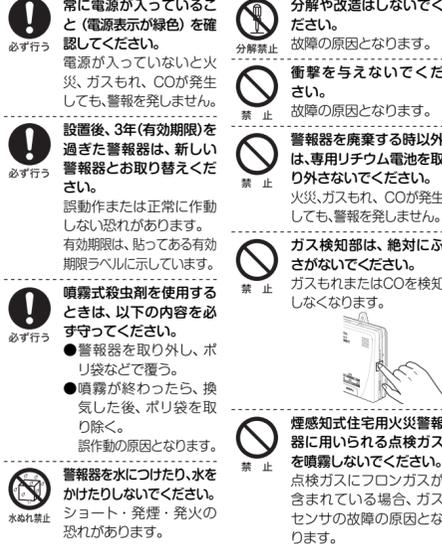


△危険

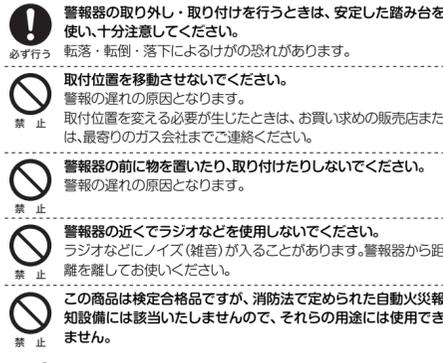
CO警報音もしくは火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。また、火災により生命に危険が生じる恐れがあります。



△警告



△注意



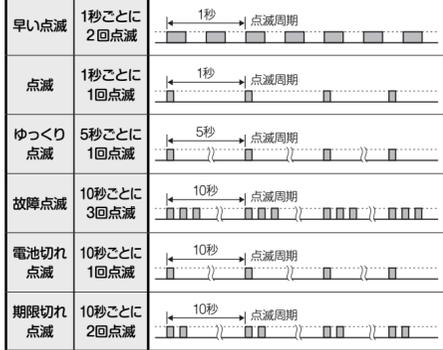
対象ガス

△注意

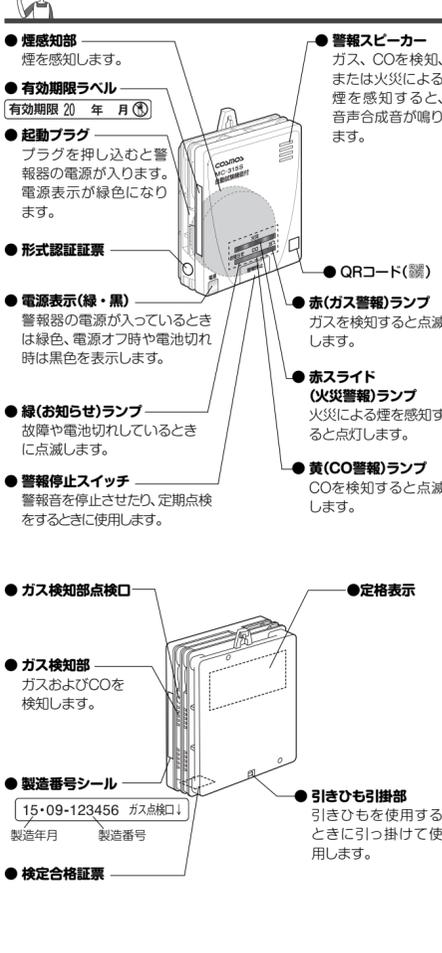
- この警報器は火災(火災等による煙)、都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)および燃焼排ガス中のCOを検知します。
- 都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)供給区域外ではお使いになれません。

■ランプのつきかたについて

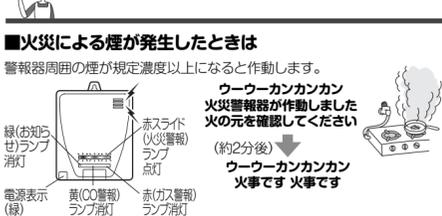
取扱説明書中のランプの点滅は次のように動作します。



各部のなまえとはたらき



警報器のお知らせ機能について



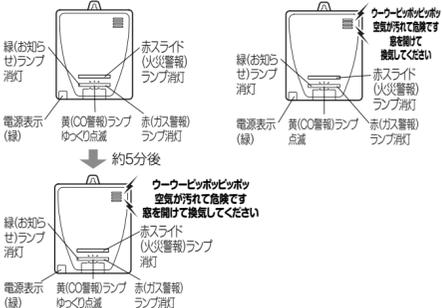
■ガスがもれたときは

警報器周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。



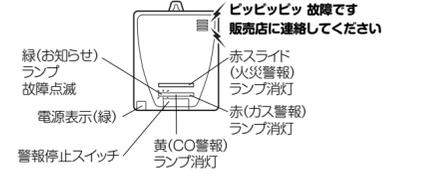
■ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは

警報器周囲のCOが規定濃度以上になると作動します。低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。(低濃度が約5分間継続した場合も警報が作動します。)



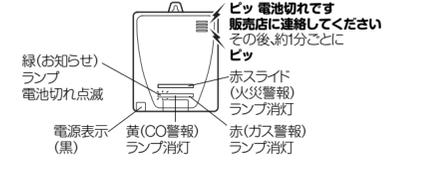
■使用方法

ただし、警報停止スイッチを押すと、「ビッピッピ 故障です 販売店に連絡してください」が1回鳴り、以降警報音は約36時間停止します。緑(お知らせ)ランプの故障点滅は止まりません。●お買い求めの販売店または、最寄りのガス会社までご連絡ください。●煙やガスおよびCOを検知した場合は、警報が可能であれば警報音を発します。●約36時間の停止中に警報停止スイッチを押すと、故障の音声が発しますが、約36時間の一時停止の状態はリセットされません。●約36時間を経過すると、再度故障警報音が鳴ります。

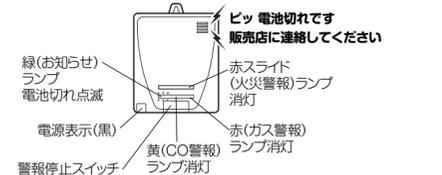


■電池切れのときは

電池切れが発生すると、「ビッ 電池切れです 販売店に連絡してください」が1回鳴り、緑(お知らせ)ランプが電池切れ点滅します。その後「ビッ」と約1分ごとに繰り返し鳴ります。



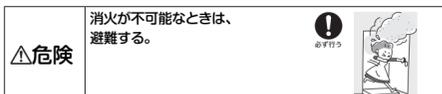
ただし、警報停止スイッチを押すと、「ビッ 電池切れです 販売店に連絡してください」が1回鳴り、以降警報音は約36時間停止します。緑(お知らせ)ランプの電池切れ点滅は止まりません。●お買い求めの販売店または、最寄りのガス会社までご連絡ください。●煙やガスおよびCOを検知した場合は、警報が可能であれば警報音を発します。●約36時間の停止中に警報停止スイッチを押すと、電池切れの音声が発しますが、約36時間の一時停止の状態はリセットされません。●約36時間を経過すると、再度「ビッ」音が鳴ります。



■使用方法



1 『ウーウーカンカンカン 火災警報器が作動しました 火の元を確認してください』と鳴り、約2分後 『ウーウーカンカンカン 火事です 火事です』と鳴ったときの処置のしかた

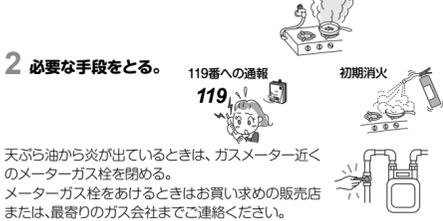


【お断わり】

- 火災以外の煙などで火災警報を発している場合でも、赤(ガス警報)ランプおよび黄(CO警報)ランプの点滅の有無を確認してください。
- 火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるガス警報およびCO警報は発しません。
- 赤(ガス警報)ランプおよび黄(CO警報)ランプが点滅している場合は、項目6の処置を行ってください。

【火災以外の煙などで火災警報を発しているとき】
項目7の処置を行ってください。

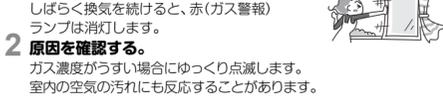
1 火元の確認をする。



2 必要手段をとる。

天ぷら油から炎が出ているときは、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。メーターガス栓をかけるときはお買い求めの販売店または、最寄りのガス会社までご連絡ください。警報器周囲の煙が規定濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、赤スライド(火災警報)ランプが消灯します。

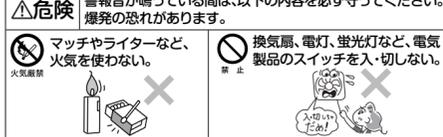
2 赤(ガス警報)ランプが点滅しているときの処置のしかた



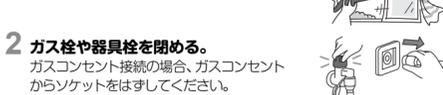
3 『ウーウーッポッポッポッ ガスがもれていませんか』と鳴ったときの処置のしかた

【赤(ガス警報)ランプが点滅(1秒ごとに1回点滅)】(ガス警報)

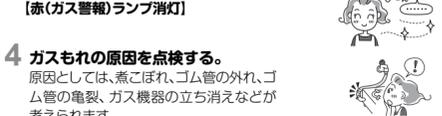
警報音が鳴っている部屋にいるときは



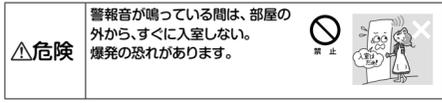
1 ドアや窓を開けて換気する。



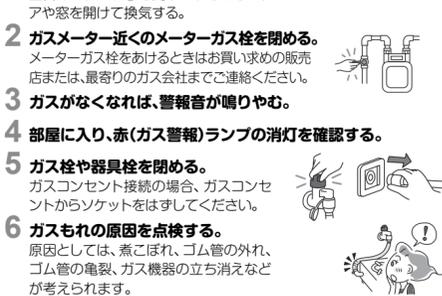
3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。



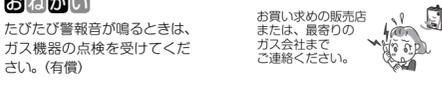
部屋の外から警報音に気づいたときは



1 部屋に入らない。



処置をしても、警報音が鳴りやまないときは



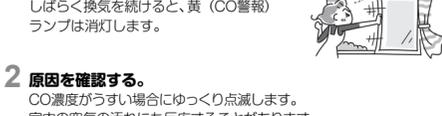
4 黄(CO警報)ランプがゆっくり点滅しているときの処置のしかた

【黄(CO警報)ランプがゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅)】(CO注意報)

【お断わり】

黄(CO警報)ランプのゆっくり点滅が約5分間継続すると、「ウーウーッポッポッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と鳴りはじめます。

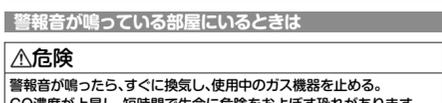
1 ドアや窓を開けて換気する。



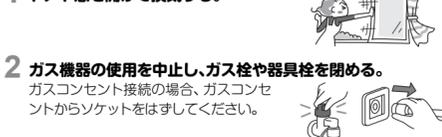
5 『ウーウーッポッポッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた

【黄(CO警報)ランプがゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅)、または点滅(1秒ごとに1回点滅)】(CO警報)

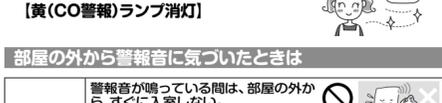
警報音が鳴っている部屋にいるときは



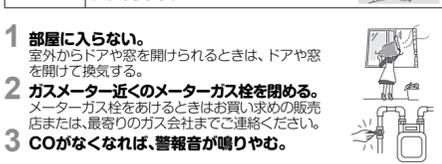
1 ドアや窓を開けて換気する。



3 COがなくなれば、警報音が鳴りやむ。



1 部屋に入らない。



4 部屋に入り、黄(CO警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。
 ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

- おねがい**
- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
 - ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

6 『ウーウービップビップ ガスがかもれていけません』と『ウーウービップビップ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』が交互に鳴ったときの処置のしかた
 (赤(ガス警報)ランプが点滅(1秒ごとに1回点滅)、黄(CO警報)ランプがゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅)、または点滅(1秒ごとに1回点滅))
(ガス警報とCO警報の同時警報)

警報音が鳴っている部屋にいますときは

△危険 警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。爆発やCO中毒の恐れがあります。

- × マッチやライターなど、火気を使用しない。
- × 換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスィッチを入・切しない。

1 ドアや窓を開けて換気する。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

[赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプ消灯]

4 ガスもれやCO発生の原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

● 部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。

- 必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
- 噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。
- 警報器の真下は避けてください。
- ポリ袋に破れや穴があるとき。
- 警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用したとき。
- ガス検知部に影響を与える成分が封じ込まれます。
- 経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。

3 ポリ袋から取り出す。

噴霧が終わったら、ポリ袋から取り出し、警報器を元の位置に取り付けてください。

定期点検

重要
 定期点検は警報器の維持管理上必要なことです。正常に動作することを確認するために、必ず実施してください。

日常点検

日常、警報器の電源表示が緑色になっていることと、緑(お知らせ)ランプが消灯していることを確認してください。

※ 電源表示が黒色であったり、緑(お知らせ)ランプが点滅している場合は、お買い求めの販売店または、最寄りのガス会社までご連絡ください。(「故障かな?と思ったら」を参照ください)

定期点検

警報器が正常に動作することを確認するために、1ヶ月に1回程度、定期点検を行ってください。

- ① 警報器が警報動作中や警報音停止中でないことを確認する。
- ② 警報停止スィッチを押す(約1秒)、または引きもを引く(約1秒)。(緑(お知らせ)ランプが早い点滅開始)
- ③ 全ランプが1秒間点灯し、「ビップ」音が出たら、「ビップ」音が約1秒押す

〈過去約10日以内に警報が作動した場合〉

全ランプ点灯後に、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、1秒間点灯・点滅します。(鳴動原因表示機能によるものです)

部屋の外から警報音に気づいたときは

△危険 警報音が鳴っている間は、部屋の外から、すぐに入室しない。爆発やCO中毒の恐れがあります。

1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

2 ガスメーター近くのみメーターガス栓を閉める。
 ガスコンセント接続の場合は、お買い求めの販売店または、最寄りのガス会社までご連絡ください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

6 ガスもれやCO発生の原因を点検する。

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
- ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

7 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスやCO以外の空気の汚れて、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴ったときは

1 ドアや窓を開け、しばらく換気続ける。

2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が止まる。

〈警報音を止めたいとき〉

警報停止スィッチを押すとき

- ガス警報の警報音は約5分間止めることができます。
- CO警報は、黄(CO警報)ランプがゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅)、CO警報音が鳴っている場合のみ、警報音を1回(約5分間)止めることができます。
- ※ 警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び警報音を発します。

火災以外の煙で火災警報音が鳴ったときは

1 ドアや窓を開け、しばらく換気続ける。

2 警報器周囲の煙が規定濃度以下になると、警報音が鳴りやむ。

〈火災警報音を止めたいとき〉

警報停止スィッチを押してください。警報音が止まります。

- 火災警報音を約5分間止めることができます。
- ※ 警報器周囲の煙が規定濃度以下になっていない場合は、約5分後に再び火災警報音を発します。約5分後に再警報してもスィッチを再度押すことで警報音を止めることができます。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- 長い間閉められたお部屋で、高気密住宅などの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分(シリコーンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス(エアコンの冷媒ガスなど))の作用により警報音が鳴りやすくなる場合があります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- 建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなる場合があります。また、まれに鳴り続ける場合があります。

〈ガス警報・CO警報〉

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけ请不要。
- タ(コ)の煙を警報器に吹きかけるといけません。
- 芳香剤・香油(アロマオイル)などの強いガスが警報器にかかるといけません。
- 線香の煙が警報器にかかるといけません。
- 溶剤、シンナー、ペンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含み接着剤を使用してください。
- 長時間、部屋を閉めていませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかるといけません。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかるといけません。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋(業務用)で湯を沸かしています。点火初期時にCOが発生し、CO警報を発することがあります。

〈火災警報〉

- 湯気が直接かかっていますか。
- タ(コ)・焼き魚・線香などの煙を警報器にかけ请不要。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。

おねがい

- ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れなどにより、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみますので、ドアや窓を開け、しばらく換気続けてください。

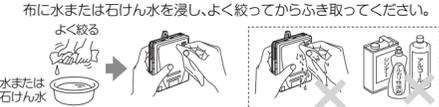
ランプ表示・音声出力の事象一覧表

電源表示	ランプ				音声内容	事象
	緑(お知らせ)	黄(CO警報)	赤(ガス警報)	赤スライド(火災警報)		
緑	○	○	○	○	なし	通常動作(監視中)
緑	○	○	○	○	なし	ガス注意報
緑	○	○	●	○	ガス警報音声 「ウーウービップビップ ガスがかもれていけませんか」	ガス警報
緑	○	○	○	○	なし	CO注意報
緑	○	●	○	○	CO警報音声 「ウーウービップビップ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	CO警報
緑	○	○	○	○	なし	ガス注意報とCO注意報
緑	○	○	○	○	CO警報音声 「ウーウービップビップ ガスがかもれていけませんか」	CO警報とガス注意報
緑	○	○	○	○	CO警報音声 「ウーウービップビップ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	CO警報とCO注意報
緑	○	○	○	○	故障警報 「ビップ」故障です ビップで故障です ビップビップ ビップ ビップ ビップ ビップ(約1分間ごと)	故障警報(警報器が故障診断機能を故障と判断した状態)
緑	○	○	○	○	有効期限切れ音声 「有効期限が切れています 販売店に連絡してください(約1時間ごと)」	有効期限切れ(警報器の有効期限が過ぎた状態)
黒	○	○	○	○	電池切れ音声 「ビ」電池切れです 販売店に連絡してください(「ビ」(約1分ごと))	電池切れ
緑	○	○	○	●	なし	火災警報
緑	○	○	○	●	なし	火災警報とガス注意報
緑	○	○	○	●	なし	火災警報とガス注意報
緑	○	○	○	●	火災警報音声 「ウーウー カンカンカン 火災警報が作動しました 煙が汚れています」	火災警報とCO注意報または警報
緑	○	○	○	●	約2分後の音声 「ウーウー カンカンカン 火災です 火事です」	火災警報・ガス注意報・CO注意報または警報
緑	○	○	○	●	なし	火災警報とCO注意報または警報

- : 点滅(1秒ごとに1回) ○ : ゆっくり点滅(5秒ごとに1回) ○ : 消灯
- ※ : 故障したときは、上記以外の警報音を発する場合があります。
- この場合、お買い求めの販売店または、最寄りのガス会社までご連絡ください。

お手入れのしかた

- 1 警報器を取り外す。
- 2 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取る。
布に水または石けん水を湿し、よく絞ってからふき取ってください。



おねがい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤(ガス警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

3 警報器を取り付ける。

4 本体を取り付けてから、正常に動作することを確認する。

警報器の取り外し・取り付けかた

■ 木ねじの場合 (取り外しかた)

1 木ねじをゆるめて警報器を取り外す。



(取り付けかた)

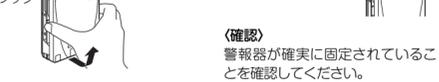
壁掛型警報器は、強く引張ると取り付けられている木ねじが抜けたり、木ねじから警報器が外れたりして、落下する恐れがあります。

1 警報器を木ねじに引っ掛ける。

2 木ねじを締め付けて固定する。(確認)

警報器が確実に固定されていることを確認してください。

■ 取付フックの場合 (取り外しかた)



警報器が確実に固定されていることを確認してください。

アフターサービスについて

■ この警報器は、3年間の無償保証です。

- この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で、警報器が正しく作動しないことが続いた場合は、無償でお取り替えます。ただし、保証書に記載されていない保証の適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご確認ください。
- 保証書に取り付け年月および販売店の記入のないものは、無効となる場合があります。お取り付け時にご確認ください。
- この警報器の有効期限は、お取り付け後3年間です。
- 有効期限は、警報器の性能を保証できる期間であり、3年を経過した警報器は、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。

- (お新わり) 有効期限は、保証書記載の年月よりも、警報器本体に貼ってある有効期限ラベルに記載の年月が優先されますので、有効期限ラベルの年月を確認してください。
- 保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、お買い求めの販売店または、最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 警報器の有効期限を過ぎたときは、お買い求めの販売店または、最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。お買い求めの販売店または、最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 引渡しをされるときは、お買い求めの販売店または、最寄りのガス会社までご連絡ください。
- 他の地区に引越されたときは、最寄りのガス事業者に連絡をとり、ガス種に適合していることを確認してください。

廃棄について

警報器を廃棄する場合は、お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがってください。

* 必ず専用リチウム電池を取り出して廃棄してください。

〈警報器と専用リチウム電池の分別のしかた〉

- ① 電池封印シールを剥がす。
- ② 表カバーを押して、表カバーを取り外す。
- ③ 専用リチウム電池を取り出し、コネクタを引き抜く。

△警告

取り出した専用リチウム電池のコネクタは、ショートしないようにテープなどを巻いてください。リチウム電池の廃棄方法を誤ると、ショートして発熱・破裂・発火することがあります。また、ケガをしたり、火災の原因になります。

仕様

項目	仕 様
火災警報機能	種類 別 光電式住宅用防炎警報器 型式番号 住第27〜2号 検知原理 煙粒拡散方式(光電式) 感知機能 2種
ガス警報機能	対象 ガス 都市ガス(空気より軽い2A・13Aガス用) 燃焼排ガス中のCO 検知方式 MEMS熱線型半導体式 動作条件 *爆発下限濃度1/40の都市ガスに対し60秒以内に警報表示 表示 赤(ガス警報)ランプ点滅(1秒ごとに1回点滅) 発報方式 音声合成警報音声
CO警報機能	対象 ガス CO 都市ガス(空気より軽い2A・13Aガス用) 燃焼排ガス中のCO 検知方式 MEMS熱線型半導体式 動作条件 燃焼初期警報停止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能 表示 赤(ガス警報)ランプゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅) 発報方式 発報音無し
燃焼排ガス中のCO警報機能	対象 ガス CO 都市ガス(空気より軽い2A・13Aガス用) 燃焼排ガス中のCO 検知方式 MEMS熱線型半導体式 動作条件 燃焼初期警報停止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能 表示 黄(CO警報)ランプゆっくり点滅(5秒ごとに1回点滅) 発報方式 発報音無し
一般財団法人日本ガス機器検査協会(JTIA)都市ガス用電池式ガス警報器検査規格 認証合格品	警報音響 70dB(A)/m以上 DC3V, 300mA 電源 専用リチウム電池 CR17450ES-2CN6, CR-AGCF2DK
共通仕様	付属機能 通電初期警報停止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能 使用温度範囲 0℃~+40℃(経過しないこと) 寸法・質量 幅65×高さ100×奥行き30mm(突起部を除く)、約175g
付属品	取付フック 1個、ピン(φ1×20mm) 3本、木ねじ(φ3.1×16mm) 1本、引きも(点検マフミ付) 1本、取扱説明書(本書) 1部、施工説明書 1部、保証書 1部

* 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界として、最高濃度を爆発上限、最低濃度を爆発下限とします。

新コスモス電機株式会社

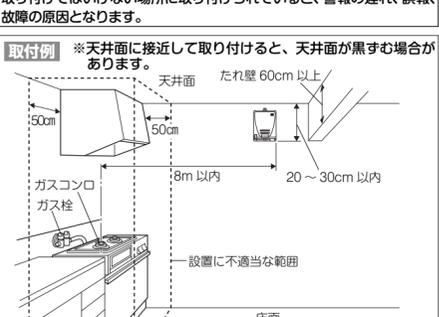
東京都 本社 〒153-0036 大阪府 大阪市 東川区 三津屋中2-5-4 TEL:06(6)3098-2310
 東 札幌営業部 〒1105-0011 東京都 都立区 池袋2-6-2 (池袋駅26ビル2F) TEL:03(4303)-2707
 東 札幌営業部 〒1060-0005 札幌市 中央区北5条西6-2-1 (丸井センタービル2F) TEL:011(231)-1101
 仙台営業部 〒980-0852 仙台市 青葉区 瑞穂4-12-7 (212ビル1F) TEL:022(239)-6081
 新潟営業部 〒950-0916 新潟市 中央区 中央5-1 (アークビル1F) TEL:025(859)-1980
 新潟営業部 〒1420-0851 新潟市 東区 金町11-7 (三井生鮮駅前ビル2F) TEL:054(255)-1901
 西日本営業部 大阪 本社 〒153-0036 大阪府 東川区 三津屋中2-5-4 TEL:06(6)3098-2310
 東 札幌営業部 〒4461-0004 名古屋 市東区 宝島3-15-31 (千種ビル15F) TEL:052(833)-1890
 中部 名古屋営業部 〒462-0055 名古屋市 東区 瑞穂17-7 (コアビル2F) TEL:052(833)-1890
 山形営業部 〒971-8051 山形市 中区 2-8-2 (二ビル1F) TEL:08(6)456-8200
 広島営業部 〒732-0827 広島市 東区 基町2-16 (広島郵便局ビル2F) TEL:082(568)-2900
 福岡営業部 〒815-0822 福岡市 東区 西新2-3-1 (NKKビル2F) TEL:092(431)-1881

販売店

取付位置の確認

△注意
 正しい取付位置に取り付けられることを確認してください。

取り付けてはいけない場所に取り付けられると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。



* 警報器の取り付けや取付位置の移動は、お買い求めの販売店または、最寄りのガス会社までご連絡ください。

〈正しい取付場所について〉

- ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ガスやCOが滞留しやすい位置で、電源表示(緑)が確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けください。
- ガス、COを検知しようとするガス機器(一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓)から、水平距離で8m以内、警報器の底面から天井までの距離が20～30cm以内の位置に取り付けてください。
- たれ壁やひりから60cm以上離してください。
- 換気口など、空気の出入口から1.5m以上離してください。

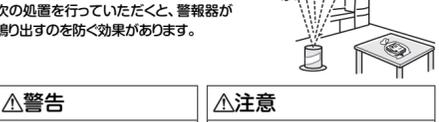


〈天井面が60cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。〉



噴霧式殺虫剤を使用するときは

噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。次の処置を行っていただく、警報器が鳴り出すのを防ぐ効果があります。



△警告

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をして、ポリ袋から取り出してください。警報器が作動しません。

△注意

警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業となりますので、しっかりと踏み台を使って、十分注意して行ってください。転落、転倒、落下の原因になります。

1 警報器をポリ袋の中に入れる。

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に次の処置をしてください。

〈準備するもの〉

- ポリ袋(30cm×40cm・1枚)
- ポリプロピレン製(△または＞PP<表示)
- ※ ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- ひも(1本)

〈処置のしかた〉

① 警報器を取り外してください。

② 警報器をポリ袋の中に入れ、袋の口をひもで縛ってください。

③ ポリ袋を傷めないように、警報器を安定するところに置いてください。

2 噴霧式殺虫剤を噴霧する。

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

〈取り付けてはいけない場所について〉

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けてはいけません。

- レンジフード内やレンジフード本体への取り付け。
アルコン等で警報することがあります。
- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。30cm以上
- すき間風の入る場所。
- 30cm以上(警報器含)のたれ壁などの。

- たれ壁60cm以上で区切られた場所。
センサの故障の原因になります。
- エアコンなどの吹出口に近い場所。
警報が遅れたり、検知できないことがあります。

- 浴室内、水のかかる場所、水滴のつく場所。
電気的故障の原因になります。